

NIC  
あれこれ探検隊

このコーナーでは、日ごろあまり表に出ることのないNICの事業やボランティアスタッフの活動などをご紹介します。みなさんの知らなかったNICのあれこれを見つけてみてください。

名古屋の魅力  
歩いて発見!

NIC国際交流ウォーキング

名古屋国際センターでは、外国人と日本人と一緒に名古屋の歴史と文化の足跡を巡る「NIC国際交流ウォーキング」を平成21年度から実施しています。NIC Walking Guidesボランティアが、コースの決定から下見、資料の作成と翻訳、そして当日の引率と通訳等の企画・運営を行っています。下見の際には、経路や所要時間、休憩場所を確認し、説明するポイントを考えます。当日までに、日本語と英語のウォーキングガイド資料をボランティアで手分けして作成します。当日は、約30名の参加者がグループに分かれ、ボランティアの案内でウォーキングを楽しみます。毎回、豊橋市や岡崎市、岐阜県など名古屋市外からの参加もあり、ブラジル、中国、台湾、アメリカ、オーストラリア、ペルーなどさまざまな国や地域の方が参加されます。今年5月には、名古屋駅近くの柳橋中央市場や円頓寺商店街を歩きました。最初に訪れた



▲円頓寺商店街

柳橋中央市場では、新鮮な魚介類が並ぶ市場を楽しみました。その後、浅間神社から、名古屋市の「町並み保存地区」に指定されている四間道地区の伝統的な町屋や土蔵、この地区ならではの路地を通り抜け、そこに祀られた「子守地蔵尊」や「屋根神様」を見学しながら、円頓寺商店街に向かいました。参加者からは「名古屋の歴史を学ぶことができました」「たくさんの素敵な人々に出会えた」などの感想をいただきました。

名古屋を観光する際に利用していただけるよう、過去のウォーキングガイド資料(日英併記)をNICの英語版ウェブサイトに掲載しています(下のQRコードより)。今後、日本語版ウェブサイトにも掲載する予定です。今後のウォーキングもお楽しみに!

■NICウォーキングガイド  
今までの開催コース

東区	文化のみち
熱田区	熱田神宮
千種区	本山～天白区
熱田区	白鳥庭園
千種区	名大減災館
中村区	ノリタケの森
東区	権木館
東区	徳川園
中村・西区	柳橋市場～ 円頓寺商店街
参加者累計 465名	



NIC情報サービスコーナー(3階) 問 広報情報課 ☎052-581-0100 ✉info@nic-nagoya.or.jp

NIC  
レポート

名古屋・ロサンゼルス姉妹都市提携60周年記念事業  
「映画から知るアメリカ・ロサンゼルス」

10月6日、名古屋国際センターにて、「映画から知るアメリカ・ロサンゼルス」を開催しました。名古屋は、ロサンゼルス、メキシコシティ、南京、シドニー、トリノおよびフランスの6都市と姉妹都市提携をしており、人物、文化、教育、スポーツ、経済、技術など、様々な分野において交流しています。今回の講座はロサンゼルス市との姉妹都市提携60周年を記念し行われました。

午前はロサンゼルス市を舞台にした映画『ラ・ラ・ランド』(デミアン・チャゼル監督作品)の上映を行いました。午後は映画館「シネマスコレ」(中村区)の副支配人の坪井篤史氏を講師にお招きし、映画を切り口にロサンゼルスの魅力を楽しみお話いただきました。

坪井氏の講演では、映画『ラ・ラ・ランド』の各シーンから、ロサンゼルスに暮らす人々の生活や、映画から浮かび上がるロサンゼルスという都市の特徴を紹介しました。また、同作のロケ地となったロサンゼルス市各所を取り上げながら、映画と都市が相互にもたらす影響などについて解説がありました。例えば、負のイメージが強かった場所が、映画で取り上げられたことでその印象を変え、明るいイメージを持たれるようになったことなどが挙げられました。また、ロサンゼルスで撮影された他の映画作品もいく

つか紹介していただきました。

そして最後に、映画から見た名古屋とロサンゼルスのつながりに触れ、ハリウッド映画を誘致していたり、名古屋市役所本庁舎や100m道路などがロケ地として多くの映画で活用されていることから、「いつか名古屋がロサンゼルスのような映画の都市になったらうれしい」と語りました。



▲解説する坪井氏

ぶらり  
ライブラリー

特に目的があるわけではないけれど、ぶらっと来てみたら、気になることに出来る場所。このコーナーではNICライブラリーと、ライブラリーの本をご紹介します。NICライブラリー 名古屋国際センタービル 3階 9:00~19:00 月曜休館

ライブラリーでベトナムの風!  
を感じたランチタイム



▲ヴァンさんのお母さんがベトナムから送って下さったお菓子

今回のぶらりライブラリーでは、NICライブラリー交流スペースで10月30日に開催したイベント「ランチタイムに世界を学ぼう!」をご紹介します。

最近、名古屋に暮らすベトナム国籍の方が増えています。中国、韓国、朝鮮に次いで3番目に多く、その人数は1万人を超えています(本誌P10参照)。みなさんも街中やお店でベトナムの人を見かけることも増えたのではないのでしょうか。今回は、彼らの国ベトナムについて、ベトナム出身のグエン トゥイ ヴァンさん(NIC地球市民教室講師)からいろいろな話を聞きました。



▲アオザイを身に付けたヴァンさん

参加者はそれぞれに持参したランチを食べながら、口をモグモグさせてベトナム語の発音練習をしたり、ベトナムの人々の暮らしや地理に関するクイズに答えたり…会場はとても楽しい雰囲気でした。

NICライブラリーにはベトナムの文化や言葉について書かれた本がありますが、やはりその国の人から直接学ぶのは、臨場感が違います。ヴァンさんのお話を聞きながら食べていたおにぎりは、何だかベトナム風味でした(笑)。

「ベトナム語で話しかけてくれるととてもうれしい」というヴァンさんの言葉と、教わったフレーズを思い出して、近所で見かけるあの人や、コンビニのあの店員さんに、ちょっと挨拶してみようかな、という気になるステキなランチタイムでした。

NICライブラリーでは、これからも異文化理解に役立つ本やDVDを充実させていくとともに、書籍だけでなく世界や人との「出合う場」であるよう、外国人講師の生の声を聞き、いろいろな体験を通して生きた学びができる事業に取り組んでいきます。ぜひ、「ぶらり」とライブラリーにお立ち寄りください。



▲NICライブラリーの書籍

クイズ Q. ベトナム語で「ありがとう」は何と言うでしょう?

グローバルに活躍する  
若者たち

「グローバルユースフォーラム  
～グローバル人材への第一歩～」を開催しました

9月21日 名古屋国際センター 別棟ホールにて

第1部 講師 安田菜津紀氏  
(フォトジャーナリスト、Dialogue for People所属)

第2部 講師 辰野まどか氏  
(一社)グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)代表理事

第1部は安田菜津紀氏による講演「グローバル人材への第一歩～被災地、紛争地の声を伝える～」を行いました。安田さんがフォトジャーナリストとなるきっかけとなったカンボジア、紛争地であるシリア、東日本大震災の被災地、陸前高田市での取材経験を多くの写真を交えてお話いただきました。人との出会いを大切にされる安田さん。取材先の人々とのエピソードは、彼らが遠い存在から近い存在になり、参加者がまるでその人に会ったような気持ちになるほど、鮮明で胸をつく力がありました。自身の仕事の意義に疑問を抱いた時期には、取材先で言われた「フォトジャーナリストのあなただからできることがある」という言葉が背中を強く押ししてくれたそうです。

最後に、「どんな年代・立場でもできることがある。それこそ



▲講演する安田氏

が世界を優しくする。"無関心ではない道"を選んで、まず身近な人と分かち合うことから始めてください」と締めくくりました。

第2部は、辰野まどか氏によるワークショップを通して、グローバル人材に必要な力を考えました。参加者は、第1部の安田さんの講演を元に、共感したことなどを分かち合い、自分が理想とするグローバル人材の姿をそれぞれ思い描いていました。

安田さんの生き方や考え方、そして自分の思いを掘り起こし具体化する辰野さんの手法の中に、グローバル人材へのヒントがたくさん散りばめられています。



▲辰野氏のワークショップ

～参加者の声から～  
「たくさんの経験をして知識を吸収し、将来の自分の可能性を上げたい」  
「共感力、思考力、行動力をもらえた」